

2023 年度台湾一周総合研究行程

田中 正敬

- 2月23日(金): 東京・成田空港を 11:35 出発、JL8663 便で台北桃園空港に到着、そこからチャーターしたバスで蘭陽博物館を經由、宜蘭に宿泊。
- 2月24日(土): 宜蘭を出発、絵本作家幾米の作品『星空』をテーマとした作品が点在し、その地域自体がパブリックアートとなっている宜蘭駅に向かう。宜蘭中山公園で旧日本軍の通信関連施設やタイヤル族が首狩りの習慣を絶ったことを記念した獻馘碑等の石碑を調査、日本の統治の拠点となった宜蘭設治紀念館、日本の統治時代の建造物が残る宜蘭酒廠、台湾の庶民の生活用品としての陶器を集めた台湾碗盤博物館、国立伝統藝術中心を訪問した。宜蘭に宿泊。
- 2月25日(日): 宜蘭から蘇澳冷泉公園を經由、媽祖を祀った南方澳南天宮を調査。清水断崖を経て太魯閣の台湾基督長老教会芝苑祈念教会を訪れ、台湾人と伝統的な祭祀やキリスト教との関係を学ぶ。花蓮に宿泊。
- 2月26日(月): 花蓮文化創意産業園區(旧日本統治時代の建造物がある宜蘭振拓株式會社工場)を踏査、日本人地方官が居住していた松園別館、日本人植民村であった旧豊田村、旧林田村、旧賀田村を調査。三仙台、台湾原住民の住居等を保存した阿美族民俗中心を經由して台東に宿泊。
- 2月27日(火): 台東の鯉魚山公園、日本統治時代に盛んになった製糖業の拠点、台東糖廠を調査、台湾の先史時代遺跡である卑南遺跡公園を調査、国立台湾史前文化博物館、知本温泉を訪問、台東に宿泊。
- 2月28日(水): 国立海洋生物博物館を見学、清代の城壁が保存されている恒春古城、台湾映画『海角7号』のロケ地を調査。当初予定していた台湾原住民族文化センターは開館時間の関係で十分な調査ができないと判断し、予定を変更して宮古島住民遭難事件から日本の台湾出兵に発展した牡丹社事件の現場を訪れる。屏東に宿泊。
- 2月29日(木): 台湾西海岸を北に縦走、七股塩山、井仔脚瓦盤塩田を調査。鹿港の老街を經由して桃園に宿泊。
- 3月1日(金): 三峽、大溪老街を踏査し、15:50 に桃園空港から JL8664 便で成田空港、解散。